

□ 神栄石野証券創業50周年を祝う

話題のひろば

<I>

# 激動の半世紀を 着実に前進



(写真) 上右／石野成明社長 左／左より金井元彦県立近代美術館館長、坂井県知事、石野成明社長、島田文六社長  
下右／ハイ、さくらの女王、ゲイル美智代・小池も親善大使としてお祝いに（左の女性）、下左／石野夫人を囲んで

昭和8年に神戸元町通りで誕生し、今日、証券業界で確固たる地位を誇る神戸生れの代表的企業、神栄石野証券株式会社が創業50周年を迎え、創業記念日の11月8日神戸ポートビアホテル「偕楽の間」で、その謝恩パーティーが開かれ約500名の人々がお祝いに駆けつけた。

式典開始とともに、坂井時忠兵庫県知事が、まず挨拶に立ち、「激動の半世紀を乗りきり、神戸に根を張って活躍してきた神栄石野証券に心から感謝と敬意を示したい。また、神戸に再び証券市場を開き、都市の活性化の起爆剤となつてほしい」と祝辞を述べた。さらには、神戸の経済産業界の代表として神戸製鋼所牧冬彦社長は「情報産業の先端である証券業界にありいつも時代を先取りしていく神栄石野証券のさらに一層の発展に期待する」と挨拶、現名誉会長の石野貞雄氏の業績をたたえた。

乾杯の音頭は、乾汽船会長の乾豊彦氏、威勢のよい「乾杯！」の声で、会場、いよいよ盛り上がり始めた。これをうけてお礼の言葉に立った石野成明社長は、「我が社が50周年を迎えることができたのはひとえに、皆様の支援あってのもの。51周年にむけて明日からもう一層の努力を皆様に誓います」

話題のひろば

<II>

□華やかに田崎ビルが竣工

## 神戸に誕生“真珠の殿堂”が



(写真上・右) 喜びの田崎夫妻(同・左) 鏡割りをする左から木口衛ワールド会長、田崎社長、乾豊彦乾汽船会長、石原大阪銀行頭取のみなさん(下・右) ショーでは真珠の美しさが出席者を魅了した(同・左) 設備も素晴らしい田崎ホールでのショー。

十一月一日、ポートアイランドファッショントータンに田崎真珠(田崎俊作社長)の新社屋「田崎ビル」がオーブンしたが、四日、竣工披露セッションが同ビル二階の田崎ホールで盛大に開かれた。挨拶に立った田崎社長は、「かねてから真珠の殿堂をつくりたいと思っていたが、それに近いものが出来て嬉しい。これから真珠・宝石業界は文化性と経済性をいかに融合させるかを考え行かないといけない」と述べ、田崎ビル竣工を機に「企业文化」のより一層の振興を強調した。

同ビルは地上九階地下二階建てで、五~九階部分を事務所として使用。田崎社長の言う“企业文化”的具体化として、真珠や宝石の美を様々な手法で表現、構成する展示空間「エスパス・ビジュウ」(一階)、多目的に使えるホール「エスパス・メディア」(二階)など一二階はパブリック・スペースとして構想されている。

レセプションでは、「ミスティ・イン・真珠」をテーマとしたモノトーンファッショントンと真珠を主体としたファッショントンショーも披露され、真珠のもつ美しさとともに、ホールの設備の素晴らしさに出席者は賛辞を惜しまなかつた。  
“世界のタサキ”へ向けて、さらに大きく一步を踏み出したようだ。

十一月一日、ポートアイランドファッショントータンに田崎真珠(田崎俊作社長)の新社屋「田崎ビル」がオーブンしたが、四日、竣工披露セッションが同ビル二階の田崎ホールで盛大に開かれた。挨拶に立った田崎社長は、「かねてから真珠の殿堂をつくりたいと思っていたが、それに近いものが出来て嬉しい。これから真珠・宝石業界は文化性と経済性をいかに融合させるかを考え行かないといけない」と述べ、田崎ビル竣工を機に「企业文化」のより一層の振興を強調した。

同ビルは地上九階地下二階建てで、五~九階部分を事務所として使用。田崎社長の言う“企业文化”的具体化として、真珠や宝石の美を様々な手法で表現、構成する展示空間「エスパス・ビジュウ」(一階)、多目的に使えるホール「エスパス・メディア」(二階)など一二階はパブリック・スペースとして構想されている。

レセプションでは、「ミスティ・イン・真珠」をテーマとしたモノトーンファッショントンと真珠を主体としたファッショントンショーも披露され、真珠のもつ美しさとともに、ホールの設備の素晴らしさに出席者は賛辞を惜しまなかつた。  
“世界のタサキ”へ向けて、さらに大きく一步を踏み出したようだ。

・明日の神戸を創る企業群像  
経営に“美学”が生きる

# 田崎真珠



田崎俊作田崎真珠社長

していました。周囲の連中もそうでした。

—田崎真珠を創業されたのはいつですか。

田崎 昭和二十九年です。家賃四千五百円のアパートを二部屋借り、住まいと仕事場に分けてスタートしました。以前に勤めていた会社で知り合ったヴェテランが三人手助けしてくれたんです。それは元の南蛮美術館の近くでしたが、手狭になったので、熊内橋に移り、それから現在地（中央区旗塚通）になりました。

—そして、十一月四日に、ポートアイランのファッショントンに新社屋を竣工されましたね。神戸らしさということは、お考えになりましたか。

田崎 特にそういう意識はなかったのですが、真珠会社としてふさわしい建物や中身をつくつたら、それが期せずして神戸らしさのあるものとなつた。新しい時代を象徴する建物になるようにとは気を配りました。最初から完璧なものは出来るわけがないので、これを踏み台として一步一歩いいものをつくって行きたいですね。

まあ、本社ビルとは言っていますが、そこでわれわれが働き、外国からのバイヤーや国内のお客さまとの取り引きをやり、また、真珠のネックレスをつくる工場もあります。総合的な機能を果たします。しかし、本当のことを言うと、売らなくてもいい、“見せる”だけという贅沢なものをつくりたいわけですよ。でも、それは借金なしでつくらないといけないのですがね(笑)。

田崎 私は昭和四年生れだから、数えの十七歳。ガチガチの国粹主義者でした。それから長崎高商へ入って、哲学や経済を学び、時代ですから試行錯誤を繰り返すますます頑張らないといかんと張り切つておるんです。

—敗戦のときはお幾つですか。

田崎 そうそう。元の海軍に戻っていた。海軍兵学校を卒業した士官候補生の連中の集いがあつて、その顔が実際に生々としていた。ハツと目が覚めて、夢だと分かったのですが、身体がものすごく爽快だった。

—確かに戦争中には海軍をおられたんですね。

田崎 そうそう。元の海軍に戻っていた。海軍兵学校を卒業した士官候補生の連中の集いがあつて、その顔が実際に生々としていた。ハツと目が覚めて、夢だと分かったのですが、身体がものすごく爽快だった。

——お話を伺っていますと、神戸の男性は頼もしいなあと感じますね(笑)。

田崎 うん、そうでしょうね。これまで、神戸は何をやっているのかという声が多かったが、頼り甲斐のある男性が増えて来ていますよ。その意味でもファッショントウンはアピールすると思う。これから神戸にはみんなが脅威を感じるのではないか。

私は長崎の出身なので、今まで九州から来た男として見られていましたが、新社屋の竣工を機会に、神戸により一層根を張ったわけだから、これからは、『神戸から出た男』として見て欲しい、と思うわけですよ。神戸の真珠屋もみな、そう思って頑張って欲しいですね。

——真珠は『美の使者』。傍から見ていますと、夢のあらお仕事ですね。

田崎 端的に言うと経済活動を通じて利益をあげ、企業には『美学』がないわけませんよ。大体、私は、これでもロマンチストなんですよ(笑)。

——真珠業界には、そういう方が多いですね。

田崎 端的に言うと経済活動を通じて利益をあげ、企業と社員、企業と社会との関わりの中で、すべてが繁栄し

ないといけない。経営者だけ、あるいは企業だけの利益追求に終わってはいけない。勿論、反社会的なことをやつてはいけない。しかし、利益と夢とは相反することがありますね。会社がボシヤつては何にもならない。そのため義理や人情を切り捨てる事もある。尊い犠牲を払ってでも、割り切って行動しないといけない。そこに『美学』が生まれて来るわけですよ。

——もう少し経営理念についてお聞かせください。

田崎 さつき言いましたように、私は十七歳で敗戦を迎えた。そのときにこれまでの価値観がスッカリ変わったわけです。つまり経営には、経済は勿論、政治、文化、宗教などすべてが含まれるというのが私の会社経営の理念なんですが、実は敗戦のときにそれに気がついたんですね。単に給料を貰う代償として仕事をするというのではなく、文化やスポーツなどをすべてを考える力強い企業活動を開拓すれば、どのような社会体制になろうともわれわれは存続できるというのが、私の哲学です。

——今春に、世界的なヴァイオリニストのユーディ・メニューインを招聘されましたね。

田崎 ただ、やればいいというものでもない。超一流のものを年に一回は何かやりたいですね。それとスポーツ関係のものも。今や経済は爛熟期。これからは文化とスポーツの時代です。そういう分野で社会に貢献できればと思つておるんです。

——最後に今後の抱負を。

田崎 結局、私は仕事に恋をしたんですね(笑)。人間の欲望には食欲とか性欲とかいろいろありますが、單なるエンジョイだけでは困る。何か大きなことに挑戦していくときに味わうサドとマゾとが混ざりあつた感覺。これが最高の快楽ですよ(笑)。七十歳になつたら自叙伝でも書きたいなど年寄り臭いことを考えておるのですが(笑)。それまでは健康第一で頑張りたいですね。

竣工なった田崎ビル<ポートアイランド・ファッショントウン>

●明日の神戸を創る企業群像

## お湯のある快適な生活環境づくりを

# ノーリツ



太田敏郎 様 ノーリツ社長

——株式会社ノーリツは、「お湯」を通じて新しいライフスタイルを提供する住宅設備機器メーカーとして広く知られていますが、まず会社設立時のお話しをお聞かせ下さい。

太田 私は江田島の海軍兵学校で終戦を迎えるました。それも、特殊潜航艇への上船命令が出た一週間後ですからギリギリのところで一命を得たというわけです。その後、故郷の播州で農業をしながら、「何かを」と考えていましたが、ある時友人の紹介で風呂釜の発明家に会いましたね。これが私の運命を決定づけたんですよ。彼の「風呂は人間の命である」という理論に深く感銘しまして、二人でたしか七十八万円を元手に事業を始めました。ところが、彼は職人気質とでも言うのでしょうか、経営観念が

全く無くてね、一年後には見事に行き詰りました(笑)。底焚き釜とタイル仕上げの風呂という、当時としては文化的で夢のある画期的な商品だっただけに、なかなか諦めきませんでね;そこで彼から特許権を譲り受け、同時に大勢の方から資金援助も得まして、五十三万円で能率風呂工業株式会社を設立したんです。それが昭和二十六年で、当社のスタートとなるわけです。

——その後、薪や石炭の時代からガスの時代になるのですね。

太田 やがてガス全盛時代が来る事が予測されましたので、他社とは一味も二味も違うガス釜を作ろうと研究にとりかかりました。たまたま航空エンジン研究の権威で風呂が大変お好きという、東京大学の富塚先生を存じ上げていましたので「お知恵拝借」と相談したところ、「B29のエンジンはアルミ製だった。ガス釜をアルミで作れ」というわけですよ。アルミというと、梅干で穴のあく弁当箱のイメージがありますから(笑)、「ええ」と驚きましたね……。ところが、純度の高いアルミというの耐蝕性も優れていますし、もちろん熱効率もいいんですね。

昭和三十六年に風呂業界で初めて、総アルミ製のガス風呂釜の開発に成功したのですが、当時、ガス風呂の釜といえば真鍮製が常識でしたから、その性能をなかなか認められず苦労しました(笑)。科学的なデータをもとにガス会社を一社一社説得して回りまして、アルミの時代を創り上げていったんです。

その後、業界初のカラーフラッシュ防止装置「ガスカット」(昭

和四十三年)や、浴室からタネ火が点けられるリモートコントロール装置「マジコン」(昭和四十五年)などを次々と開発して、安全で便利な風呂釜時代を生み出したというわけです。

その技術開発力を生かして、給湯機やボイラー分野にも進出し、また都市ガスや石油への燃料転換にも積極的に取り組みまして、今や温水機器の総合メーカーとしての道を歩んでいます。

社名の方も、新しい時代に対応しようということで、昭和四十三年に「ノーリツ」と改めました。

——現在、電子技術の応用によって、安全、便利、省エネ、省スペースという時代のニーズにマッチした機器を次々に開発されているのは、そうした技術研究体制が充実し、確立されているからですね。

太田 その通り。よく「ノーリツは営業力が強い」と言われますが、それは優れた技術開発力に基いているからですよ。

「よそとは一味も二味も違うもの」を作らないと、私達は生きてゆけませんよ。逆に「よいもの」を作れば、消

費者の方も受け入れて下さいますね。私は当初から、社内に開発力は絶対必要と考え、昭和三十一年には兵庫県工業奨励館内に研究部門を設けるなど、終始、時代にさきがけて研究開発を進めてきました。

現在は、明石と西江井ヶ島の2つの研究所がありますが、研究部門に所属する人数が全社員千六百人の1割以上という数字からも、いかに技術開発に力を注いでいるかがおわかりいただけるでしょう。

その結果が、本年度年商、五百三十億の突破につながっていると言えるでしょう。

——太田敏郎社長の経営哲学をお聞きしたいですね。

太田 まずひとつには、今、申し上げましたように製品開発を優先させるということですね。

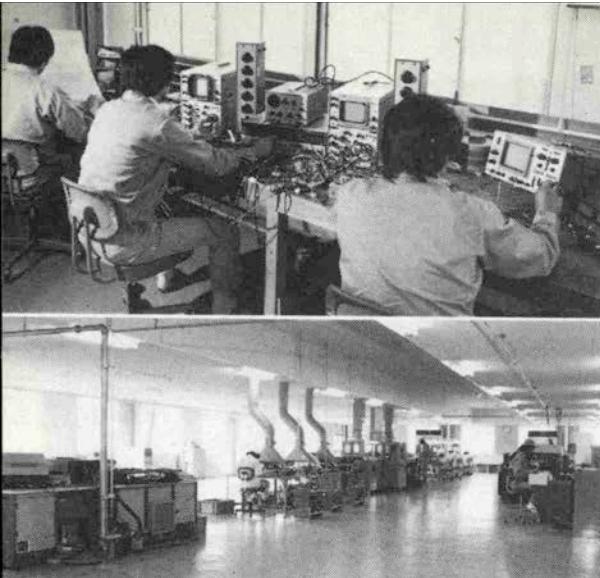
次には、人材の育成、特に幹部の養成ですね。企業は人なりとよく言われますが、私は特に幹部の質、幹部の生き様が企業を左右すると思います。常に「適材適所」であるかを注意して、その人に合ったセクションで十分実力を発揮してもらえば、個人にとつても会社にとってもプラスになるはずですよ。

三つめは、「和して同ぜず」という事です。おたがいに信頼しあった上で、言いたいことを言い、人の意見を聞くことが大切だと思います。最近は「同じで和せず」というのが多くてね(笑)。

——最後に、これから抱負や展望などを。

太田 具体的には、昭和六十五年には年商一千億円の目標を達成したいと思っています。

そして、ただお風呂や台所にお湯が出れば良いというのではなく、年々変化していく生活様式に対応して、家庭という生活空間に憩いとくつろぎを提供することが、私達の役目であると考えております。『お湯』を通して新しいライフスタイルを提案することにより、夢作りの先導役として常に前進し続けたいですね。



(上) 先進製品を生み出す技術開発 (下) 電子部品の組立工場

# KOBE FASHION SPOT

★“色”的イマージュを使って、音楽に乗れ

ば「気分は最高!」

京阪神ファッショングランプリに合わせて、神戸ドレスメイカーライフ学院(学長:福留芳美)が、31回ファッションショー「色・音・気

分」を、10月30日、勤労市民会館7F大会場に於て開催した。神戸の町に、ファッション界の新星を生むこの学院のショーは、アベレ

ル業界にとって、毎回関心の高い催しである。今回企画・構成など全てが学生の手に依る

る。31回の「色・音・気」のテーマによる作品



学生による作品

ショーや中では、金賞・銀賞などに選ばれた作品も同時に発表されていた。じつかりした技術に裏付けられた感性

を發揮する神戸ドレメの今年のショーが、神戸ファションの刺激剤になれば、町もまた

ますます踊るであろう。

★紳士もエクセーヌでおしゃれを

13番目店 德島店をオープンしたそごう百貨店が、10月12日(水)、5Fメンズフロア特設会場に於て、「秋冬東レエクセーヌファッショニング」を開催した。自ら、エクセーヌのステージで登場した岡田真澄さんの軽妙なおしゃべりと共に、数種のエクセーヌ商品が紹介された。



エクセーヌのスーツで登場した岡田真澄

神戸の紳士諸君、今年の秋冬のオシャレはこれであります。

★ドルチェ・マック OPEN

センター街1丁目に本店をもつMAC(植村孝一社長)は11月1日、装いも新たにドル

チエ・マックをオープン。ガラス張りのシャープな外観、インテリアもシンプルで洗練さ

れている。1階はメンズ、2階はレディス、3階は自由は使えるフロアという構成だ。

アルウェアのドルチエは、神戸っ子にも人気が高く早くも話題を呼んでいる。

3階のフロアは、ギャラリーになったり、パーティ会場になったり、アイディア次第で

フルに活用できるスペースを提供する。スペ

ースは、植村社長の最も得意とするところ。ドル

チエ・マックは、ドルチエファンに

openした。身をまとい

フロアは、

□賞 332-10141  
について語り合おるのもいいですね。

★ラブリーなミルクメリーリショップ「ベル根」  
ペリーリーは、名古屋のマタニティ「ベル根」が、8月8日、ワールドのブランド・ミルクメリーリンリーショップとして生まれかわった。アーリーアメリカンの手作り感覚と伝統を生かした優しい洋服、無邪気さ、あどけなさ、のびやかさにおしゃれ感質をプラスした。ファッションが渝つている。

また、マタニティーは、ピエールカルダン、ルイフィエロー、サッスーンなど、秋・冬物の

新作が展示され、新作が展示されている。アーリーローファーなど、若いママにぴったりのお店だ。

★シェレール10周年なごやかに  
加納町三丁目にあるモード・サロン・シェレール(安川雅子さん)が、10周年を迎えて10月28日午後6時から、オリエンタルホテルにおいて「シェレールディナーショー1983」、「音と光のプロムナード」を開いた。



花束を受ける安川さん

ばらの花薫る舞台にくりひろげられたショーよりは、タウンものから夜のロングまで季節の流れの中次々と紹介されて行く。ラストは当日特別ゲストの尾崎紀世彦シヨー。歌唱力充分の迫力ある声で会場を圧倒し、ものまねまでのサービスぶり。また、旅行券30万円相当が二人のお客さんに贈られて大喜び。安川さん最上の日であった。

★プロに手ほどきを受けて

より美しいメイクアート  
三井化粧品店「絹屋」が化粧品メーカー、レブロンの協賛で10月14日、「レブロン」秋のルック発表会を催した。レブロンの中でもグレードの高いブランド、アルティマから、ものまねまでのサービスぶり。また、旅行券30万円相当が二人のお客さんに贈られて大喜び。安川さん最上の日であった。



勢揃いしたスタッフ達

ラコーコーディネイトされ、今年の秋冬のファッショングランプリともマッチしている。当日は、有名近くが参加し、アーバイザー個性派のシヤドウがカラーカラーなどと合わせてメークからスキンケアの指導を。学生やOL、ミセスも美しく装うメークに興味津々だった。

□絹屋

賞 331-5778

SERIZAWA CHRISTMAS COLLECTION '83



80th ANNIVERSARY  
時を重ねるごとに美しい

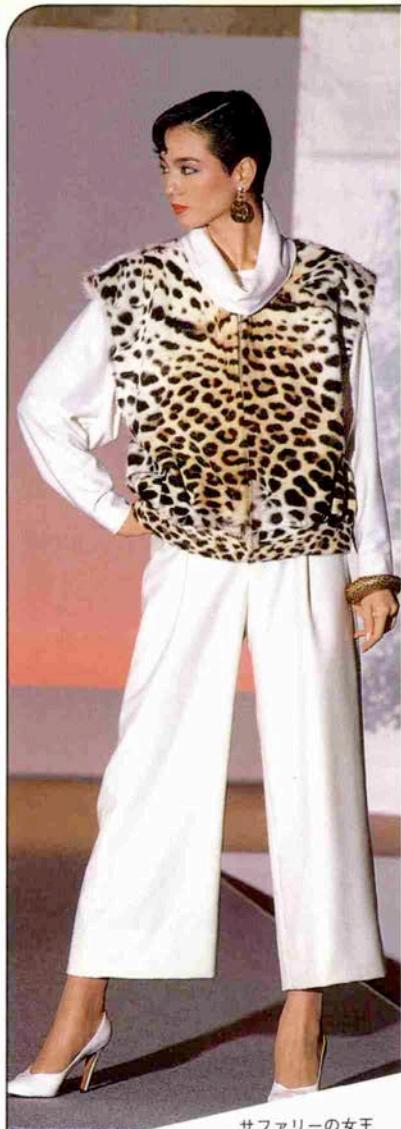
♪  
黒。香り高く煌く無言のマジシャン。  
ミスティアス・イヴ

# 聖夜の造形



serizawa  
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3丁目1-8 TEL.(078)331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



サファリーノの女王



黒い蝶



アフリカン・レオバード



キュール&ブティック

ウインザー

山田 富絵子

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目 さんプラザ2F TEL (078) 331-7952



火の鳥  
デザイン・藤本ハルミ



黒孔雀の女王

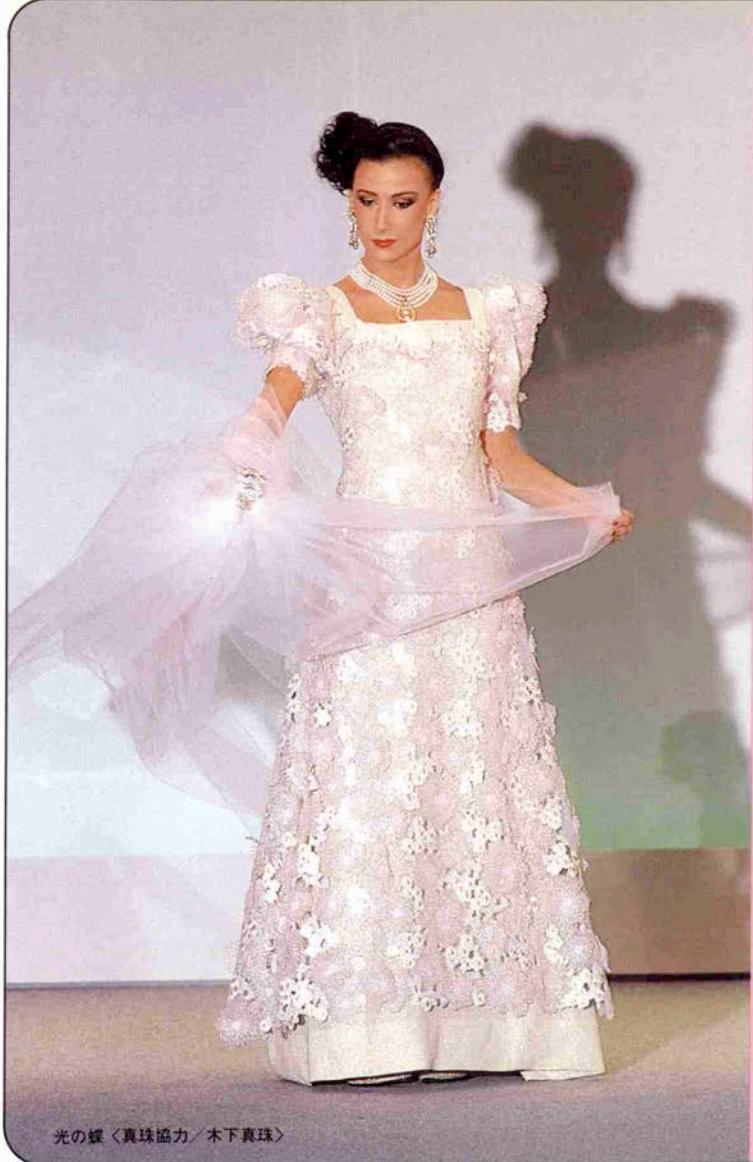


白鳥のプリンセス

真珠・宝石  
**金子眞珠店**

神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824 ☎(078)822-1106㈹  
東京・大阪・神戸・福岡・長崎・佐世保

私はいま。ピンクのこころ  
やさしく 愛らしく  
カセットに夢をこめて



光の蝶〈真珠協力／木下真珠〉

FAIRE PRESENT DE CHOIX

カセツト 砂川松枝

■大丸店 中央区三宮町3丁目3-1-16 ☎391-4992  
■FANTASTIC SALON 中央区北野町4-9-18 カサブニックス1F ☎241-5482



# 真珠の囁きと 狼のエレジーと…



## 株式会社山勝真珠店

心斎橋店・大阪市南区心斎橋筋1丁目11(大丸前) TEL.(06) 251-1128  
中津店・大阪市大淀区茨守洋ホテルアーケード TEL.(06) 372-6854  
さんちか店・神戸市三宮さんちかタウンハイモードタウン TEL.(078) 391-4325  
岡山店・岡山市一番町ハイモードタウン TEL.(0862) 32-9024  
ショイナス店・横浜市相鉄ショイナス3階 TEL.(045) 321-4717

## 株式会社山勝真珠東京支社

虎ノ門店・東京都港区虎ノ門(虎ノ門山勝ビル1階) TEL.(03) 437-3320  
赤坂店・東京都港区赤坂8丁目(赤坂山勝ビル1階) TEL.(03) 470-0222  
西新橋店・東京都港区西新橋1-18-14 TEL.(03) 501-7237

モデルリスト・大西節子  
(株式会社山勝真珠店アンパン・シラソン  
チーフデザイナー)



“リスのロンド”  
大西 節子



“黒猫レーサー＆レーサーの恋人”  
大里 最世子



“ゲニアの午後”  
砂川 松枝



“ライオンの将軍”  
市野木 江充子



“ミセスふくろうのお出かけ”  
藤田 ハルミ



“紫砂の黒豹”  
山田 富紗子

## 神戸生まれの ファッションクリーニング

洋服のシルエットを大切に、  
手入れする感覚のクリーニング



K.F.M.（コウベ ファッション モデリスト）  
6人の第4回のショーの作品は、神戸のオートクチュールのモデルらしい個性的で、シルエットの美しいいかにもKOBEらしい洋服でした。このような美しい作品を、いつまでも新鮮に着こなして行くために〈ニシジマ〉は、最新でハイな技術のクリニックをいたします。いい洋服にいいクリーニングでおしゃれな秋・冬を

- 型くずれの防止
- 素材感の回復
- カルテの作成
- お客様の好みに合せた仕上
- ファッションクリーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目10-7  
ヒューストン101 ☎ (078) 332-2440



本社 / 神戸市灘区記田町1  
☎ (078) 851-2440

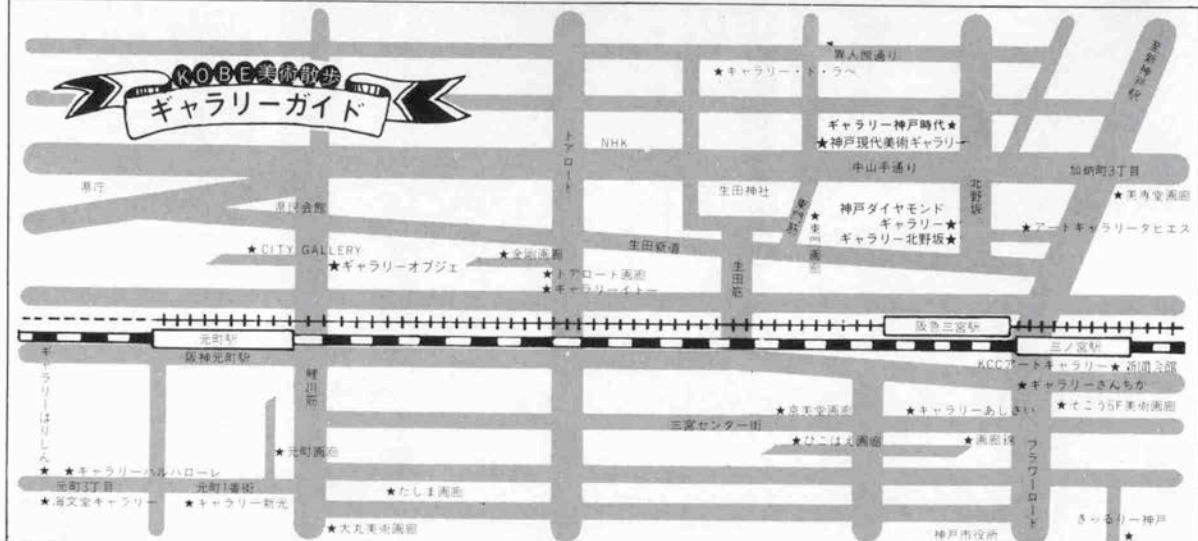
## 2人3脚で迎えた10年

そごうの美術部から独立しての2人3脚も10年の歳月を迎えた。新制作協会展を催した直後に、同協会の小畠良平氏が文化勲章を受賞、節目に花を添えた。1人で経営だと、仕入れに行けば販売が留守、東へ行けば西が留守、外へ行けば内が留守、とロスも多いが2人だと補完し合える。「1+1が2だけでなく、3にも4にをしていきたい」と語る名コンビである。



ギヤラリー  
吉田 公彦さん  
沢辺 由夫さん

K O B E 美術散歩  
ギャラリーガイド



画廊 藥	画廊 錦	ギャラリー あじさい	SALON& GALLERY (北野坂) 神戸時代	ジョイント ギャラリー
11/26～4 第16回創作版画協会展 6～11 紅辰会日本画展 13～18 藤本保子手作り人形展 20～25 玉沢良雄絵と写真展	1～6 藤原勝伯書個展 8～13 第5回大銅会書作品展 大東文化大OB 15～20 神戸海星女子学院大学 写真展	11/26～4 菅原洸人展 6～11 日本画5人展	常設展	常設展
神戸市中央区三宮町1丁目 6-3 (パレックス東隣) ☎ (078) 391-4137 月曜休	神戸市中央区三宮町1丁目 5-30 三宮センター街 ☎ (078) 331-1721-3水曜休	神戸市中央区三宮町1丁目 8-1-305 さんプラザ3F ☎ (078) 331-1639-1067	神戸市中央区中山手通1丁目 23-10 モンシャトコトブキ ビル1F ☎ (078) 242-3567 喫茶(量)土日休・スナック(夜)日曜休	神戸市中央区三宮町1丁目 6-18 ジョイント3F ☎ (078) 331-2046

FASHION  
NOW

'83 K.F.M. FASHION SHOW  
ドラマティックに  
自然よ蘇れ!  
“動物たちのカーニバル”



かつては友達だった――

空の青さよ 雲の白さよ

いつしょに遊んだこともある

小さな花たちよ 魚たちよ  
君たちはみな

どこへ行つたの?  
失なわれたものたちと

再会するために今  
女は けものになつた

美と夢と愛の  
けものになつた

歌え カーニバル!

踊れ カーニバル!

生命の炎 燃えつきるまで

（新井満）

この詩が今回のK.F.M.の  
アッシュショーンのテーマ  
ト（K.F.M.）のショーは十月  
二十一日、神戸ポートピアホ  
テル催業の間で午後三時から  
と午後六時半からのディナー  
ショウが催された。

六人のモデルリストがこのテ  
ーマから、それぞれ個性的に



►エメラルド色の  
シルクシャンタン  
ロングドレスは“お  
しゃれなおうむ”  
モダリスト／藤本ハルミ



エレガントのコーティング  
コート“恋人たちI”  
►モダリスト／砂川松枝



シルクジャージの  
ワンピースは“熱砂の黒豹”  
►モダリスト／山田富紗子



シルクのタフタのイブニングドレスに  
シルクプロッチーロのコートを組ませた  
“狼のエレジー”  
►モダリスト／大西節子

動物の世界をイメージした。パートIは「魔女国」の動物たちをテーマに大里最世子の作品。今年流行の人工皮革ソフリナを使ったブルゾンやパンツが楽しい。ミッキー・マウスやビーチー・ラビット、こうもりなどユーモアたっぷりなアイディアが冴えた十五点が紹介された。

パートIIはニットデザイナーハルミ江原の作品で「動物王国の兵士たち」がテーマ。白熊、ライオン、ふくろう等の動物を全てミリタリールックの勇ましい兵士に仕立てあげた。素材から編みあげる二ツの立体感が面白い。

パートIIIは、大丸神戸店ジバンシイサロンの大西節子。『森のコーラス』という優しいテーマで、シンプルなデザインに、カッティングや縫製の良さが光っていた。毛皮をうまくあしらい、一層豪華な雰囲気が漂っていた。

パートIVは「熱い国」の動物たち」と題したウインザーの山田富紗子。アフリカが好きで何度も訪れているが、その影響もあってか豹やレオバードが登場する。アンゴラやシルクジャージの豹柄プリントを使って野性味をだしていた。

パートVは、大丸前クチュール・カセットの砂川松枝の作品で「ケニアの午後」がテ



田崎俊作夫妻も列席 左は中内安子さん



左より田辺・川野夫妻を囲んでノコちゃん、柴田美保子さん



フィナーレで挨拶する藤本会長(中央)



森真珠社長を囲んでインターナショナルに



坂井時忠兵庫県知事と秘書課の皆さん



木下真珠の美人三姉妹も仲良くバチリ

ーマ。エレガンスの服地を用いてコーティング素材のワイルドなデザインに挑戦した。

パートⅥは、KFMの会長を務めるケチュール・マーガレットの藤本ハルミで〈鳥たちの宴〉がテーマ。今回は布尺にこだわらず、インドシルクやベルベットも用いた。フイナーレを飾つた『火の鳥』は、真赤のモアレの翼と、真珠の仮面が圧巻だった。

パートⅦは神戸の真珠会社とデザイナー達の競作で〈蝶の谷〉がテーマ。こんもり茂つた大木をバックに七匹の華麗な蝶が舞い踊った。

ディナーショーには、坂井時忠兵庫県知事や作家の田辺聖子、川野純夫夫妻、ラジオタレントの小山乃里子さんも駆けつけ、後援の田崎真珠、大月真珠、森真珠等各真珠会社社長夫妻らも交えて約三百名が集い大盛況となつた。

「作品がイキイキとして、また全般的に若返つたようで楽しかったわ。皆さん“遊び心”を大切にしておられるからでしようね」とお聖さんの感想。ドラマティックだったと女性のみならず男性にも好評を博していた。

来年のショードにむけて、今から待ち望まれそうだ。

